東日本大震災をふまえた世界的視点での危機管理 ～危機に強いレジリエントなアジア社会を目指して

ベルギーに事務局を置く国際危機管理学会 TIEMS（The International Emergency Management Society）の日本支部が今年5月に設立されます。日本支部では5月 22 日、23 日の 2 日間、設立記念シンポジウムと第1回ワークショップを開催します。

アジア諸国の急速な経済発展に伴い、社会を取り巻くリスクは増大しています。昨年の東日本大震災、そしてタイの大洪水は世界経済に大きな打撃を与えました。このような状況の中、国際的な視点での危機管理の取り組みと、災害に強いレジリエント（回復力のある）なコミュニティの創設が不可欠になっています。

シンポジウムでは、国内外の危機管理の専門家、企業や組織の実務者が集い、ともに学び、交流することで、国際社会における統一化された危機管理システムの連携によるレジリエントなアジア社会を目指す第一歩とします。つきましては、本シンポジウム開催の趣旨をご理解いただき、より多くの方々に積極的なご支援、ご参画をお願い申し上げます。

http://www.risktaisaku.com/Home/tiems

アジア各国のBCP・危機管理の専門家が集う

■プログラム

【5 月 22 日（火曜日）】シンポジウム （すべて日本語および逐次通訳）

※受付開始 9:30～

・10:00-10:05 開会　主旨説明

牧 紀男（TIEMS 日本支部事務局長、京都大学防災研究所准教授）

・10:05-10:50 基調講演1　**危機に強く、しなやかなアジアの実現 ～レジリエンスの視点から～**

林 春男（TIEMS 日本支部代表、京都大学防災研究所教授）

・10:50-11:35 基調講演2　**拡張するネットワーク型社会と世界標準化によるレジリエンスの構築**

渡辺研司（名古屋工業大学大学院教授）

・11:35-12:00 挨拶　**TIEMS の役割と活動内容 ～日本支部設立に寄せて～**

K.Harald Drager (TIEMS 会長)　※逐次通訳

TIEMS 日本支部 第1回総会 12:00-13:30

Conference ～アジアにおける BCP・レジリエンスの取り組み（TIEMS アジア支部からの発信）～

・13:30-14:10 **アジアの自然災害リスクの動向と ADRC の活動**

名執 潔（アジア防災センター所長）

・14:10-14:40 **中国におけるしなやかな社会の実現に向けた取り組みと課題**

Jack Ji Zhang ハーモニーテクノロジー代表取締役社長(TIEMS 中国支部)　※逐次通訳

・14:40-15:10 **災害に向けた世界的フレームワークの構築-技術と情報の共有**

Young-Jai Lee 東国大学教授(TIEMS 韓国支部代表)　※逐次通訳

・15:10-15:40 **政府におけるタイ洪水のインパクトと対応と復旧**

Tinnakorn Tatong タイ政府鉱物資源庁　※逐次通訳

・15:50-16:50 **パネルディスカッション「アジアにおけるレジリエンスの向上」**

コーディネーター: 牧 紀男、 パネリスト:林春男、渡辺研司、名執潔、Jack Ji Zhang 、

Young-Jai Lee、Tinnakorn Tatong　※逐次通訳

・17:30 -19:30 交流会

会場:ホテル JAL シティ四谷（東京都新宿区四谷3－ 14 －1）

【5月 23 日（水曜日）】　Concurrent Sessions （23 日は、すべて英語となります）

※1 All sessions are conducted in English. ※2 Please select your participation from sessions1-3.

・Start accepting 9:30

・10:00－12：00 Concurrent Sessions

Session 1 Emergency Management in Private Sectors

Chair：Kenji Watanabe (Nagoya Institute of Technology)

・ 3.11Japan Earthquake and BCM
  Shinichi Okabe
・ BCM in the Financial Companies in Japan
  Yasutake Sayanagi
・ Business Continuity Planning Status of the Private Sector in the Asia Pacific Region
  Takahiro Ono
・ Developments in Emergency Industry and Industrialization in China
  Fang Man
・ Preliminary Calculation and Analysis of Changes in Demand and Supply Associated with Tokyo Metropolitan Epicentral Earthquake
  Nobuyuki Tsuji, Kazuaki Niwa, Ryuji Momota, Kengo Ejiri, Hidekazu Morinishi
・ Study on Support Systems to Maintain Building Function Continuity in the Event of a Disaster
  Yukihiro Masuda

Session 2 Information Management for Emergency Management

Chair：Keiko Tamura (Niigata University)

・ The Detection and Reconstruction of the Processes of Compound Disasters in Siaolin Village Caused by the 2009 Typhoon Morakot
  Wen-Chi Lai, Chjeng-Lun Shieh, Yukio Fujinawa
・ Several Essential Points in the BCP against Huge Disasters
  Yukio Fujinawa
・ How to Construct the Common Operational Pictures with Dynamic Maps Using the Mashup Technology
  Munenari Inoguchi, Takashi Furuya, Reo Kimura, Keiko Tamura, Haruo Hayashi
・ Clarifying the Function of the Emergency Mapping Team in order to Allocate the Limited Resources in the Time of 2011 Great East Japan Earthquake
  Reo Kimura, Munenari Inoguchi, Keiko Tamura, Takashi Furuya, Haruo Hayashi
・ Building a Victims Master Database Using the GeoWrap Method without a Primary Key
  Keiko Tamura, Munenari Inoguchi, Reo Kimura, Takashi Furuya, Haruo Hayashi
・ Emergency Responds Industry in Taiwan
  Chi-Ming Peng , Marvin Lee
・ A Participatory Three Dimensional Mapping in Merapi's flank: An example of disaster risk reduction program in Indonesia
  Estuning Tyas Wulan Mei, Delphine Grancher , Jake Rom Cadag

Session 3　Emergency Management in Public Sectors

Chair：Norio Maki (Kyoto University)

・ A Study on the Roles of Wide-Area Logistics Support Base Located in Non-Impacted Vicinity in the Case of the Great East Japan Earthquake 2011
Haili Chen, Norio Maki, Haruo Hayashi

・ Development of Earthquake Disaster Management Training System in China
LAI Junyan

・ Disaster Response to the 3.11 East Japan Earthquake Disaster
Norio Maki

・ Disaster Management Core Competencies in Global Disaster Management
James C. Hagen

・ School-Based Disaster Risk Reduction : A Case of Thailand in the Aftermath of the 2004 Indian Ocean Tsunami
Cherdsak Virapat

・ How Integration and Flat Government Help Build Resiliency :Progress in California
William Siembieda

・12:00-12:45 **Lunch (included)**

・12:45-14:15 **Tour of National Emergency Management Center**

・14:15-15:15 **Concurrent Sessions continues**

・15:30-16:15 **Sharing outputs of each session**
Coordinator Norio Maki (Kyoto University)

・16:15-16:30 **Closing Remark**
Haruo Hayashi (Kyoto Univeristy)

■**主催**：　国際危機管理学会（TIEMS）日本支部

■**共催**：　京都大学防災研究所

■**後援**：　内閣府（防災担当）、国土交通省、警察庁、気象庁、海上保安庁、
アジア防災センター、地域安全学会、日本災害情報学会、公益財団法人公共政策調査会、
株式会社東京ビッグサイト　危機管理産業展、
一般社団法人公共ネットワーク機構、震災対応セミナー実行委員会、
一般社団法人レジリエンス協会、BCI 日本支部、一般財団法人日本規格協会、
特定非営利活動法人日本防災士会　　（5月２日時点で申請待ちのものも含む）

■**メディア協力**： リスク対策.com（㈱新建新聞社）
Journal of Disaster Research（富士技術出版㈱）、
IDG ジャパン
株式会社保険毎日新聞社

■**協賛企業**： 日本ミクニヤ株式会社、IPSTAR Co., Ltd、株式会社 AIT、ジェネシス株式会社、
NTT ラーニングシステム株式会社

※本シンポジウムは独立行政法人日本学術振興会の支援を受け実施するものです。

■**会場**：

【5月 22 日：設立記念シンポジウム】

新宿区立四谷区民ホール（東京都新宿内藤町 87　TEL 03－3351－2118）

http://shinjuku-kuminhall.com/pc/pdf/yotsuya_map.pdf

地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前」から徒歩5分

※エレベーターが混み合うことが予想されます。お早めにお越し下さい。

【5月 23 日：分科会】

東京臨海広域防災公園（東京都江東区有明 3－8－35　TEL 03－3529－2180）

http://www.ktr.mlit.go.jp/showa/tokyorinkai/information/access.htm

りんかい線　国際展示場駅より徒歩 4 分。ゆりかもめ　有明駅より徒歩 2 分

■**参加費**： ご希望させる日程、懇親会への出席の有無に応じて参加費が異なります。

【1　日目（5月 22　日）】

シンポジウムのみ参加： **無料**　（※資料が必要な方には 5000　円で販売いたします）

交流会費　8000　円

【2　日目（5月 23　日）】

分科会のみ参加：　7000　円（※論文資料代及び見学会費・昼食弁当代含む）

パンフレット　ダウンロード

お申込みはこちらから

■問い合わせ先

新建新聞社　リスク対策.com 編集部
電話03－5312－7740

東日本大震災をふまえた
世界的視点での危機管理

参加者募集中

ベルギーに事務局を置く国際危機管理学会TIEMS（The International Emergency Management Society）の日本支部が今年５月に設立されます。日本支部では５月22日、23日の２日間、設立記念シンポジウムと第１回ワークショップを開催します。

アジア諸国の急速な経済発展に伴い、社会を取り巻くリスクは増大しています。昨年の東日本大震災、そしてタイの大洪水は世界経済に大きな打撃を与えました。このような状況の中、国際的な視点での危機管理の取り組みと、災害に強いレジリエント（回復力のある）なコミュニティの創設が不可欠になっています。シンポジウムでは、国内外の危機管理の専門家、企業や組織の実務者が集い、ともに学び、交流することで、国際社会における統一化された危機管理システムの連携による、レジリエントなアジア社会を目指す第一歩とします。つきましては、本シンポジウム開催の趣旨をご理解いただき、より多くの方々に積極的なご支援、ご参画をお願い申し上げます。

開催日時　2012年5月22日（火）～23日（水）

開催場所　５月22日：新宿区立四谷区民ホール　東京都新宿区内藤町87　TEL：03-3351-2118
５月23日：東京臨海広域防災公園　東京都江東区有明3-8-35　TEL：03-3529-2180

主　催：国際危機管理学会（TIEMS）日本支部
共　催：京都大学防災研究所（予定）
後　援：内閣府（防災担当）（申請中）、国土交通省（申請中）、他関係省庁（調整中）、アジア防災センター（申請中）、地域安全学会、日本災害情報学会、公益財団法人 公共政策調査会、株式会社 東京ビッグサイト 危機管理産業展、一般社団法人 公共ネットワーク機構、震災対応セミナー実行委員会、一般社団法人 レジリエンス協会（調整中）、BCI日本支部、財団法人 日本規格協会、特定非営利活動法人 日本防災士会（予定）、他関係機関（調整中）
メディア協力：リスク対策.com（㈱新建新聞社）、Journal Disaster Research（富士技術出版㈱）、IDGジャパン
協　賛：日本ミクニヤ株式会社、IPSTAR Co., Ltd、株式会社AIT
支　援：独立行政法人 日本学術振興会

参加費　※ご希望される日程、交流会の参加の有無によって、料金が異なります。

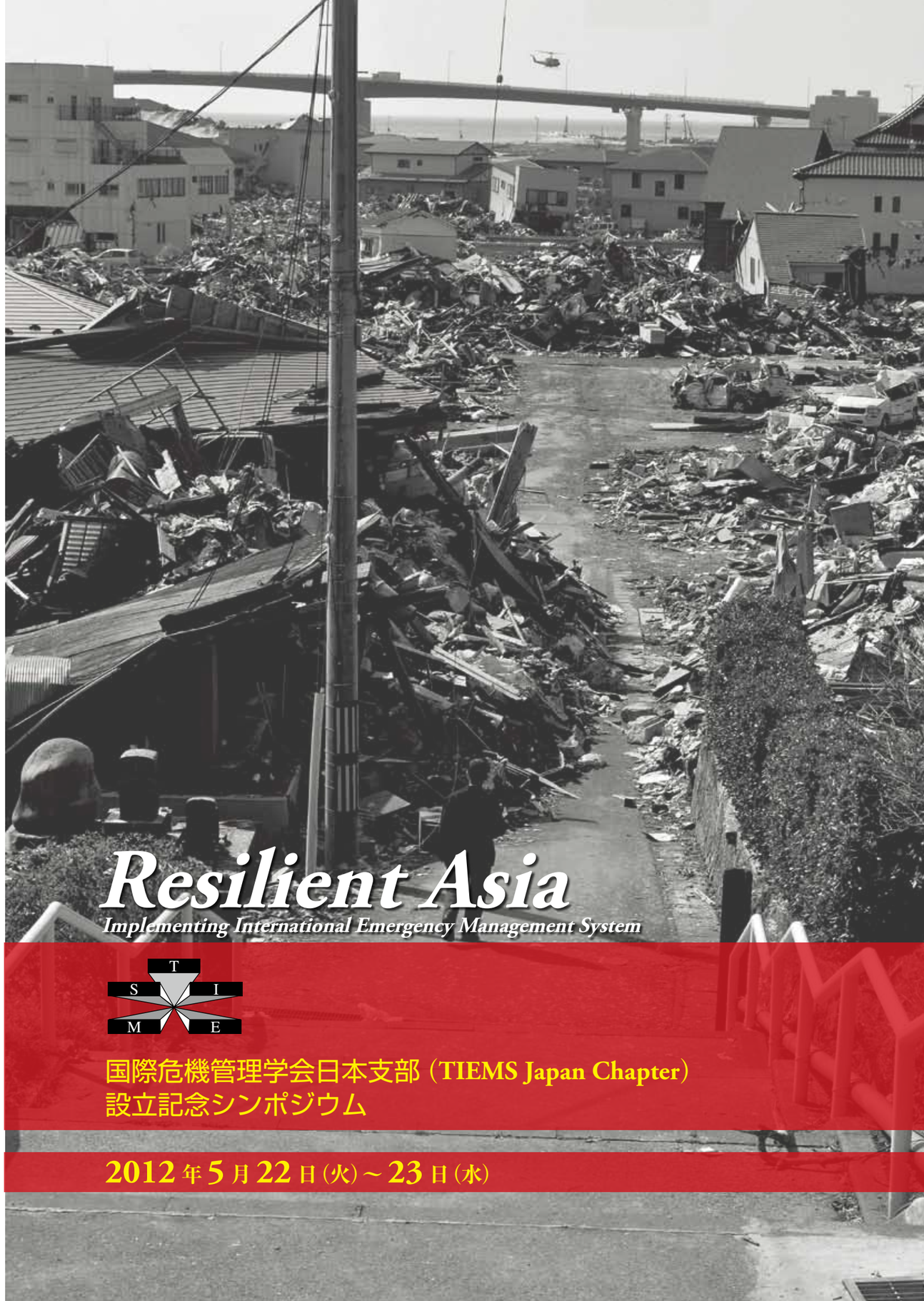
１日目（5月22日）
・シンポジウムのみ参加：**無料**
（※資料が必要な方は5000円で販売いたします）
・交流会費：8000円
・交流会場：ホテルJALシティ四谷

２日目（5月23日）
・分科会のみ参加：7000円
（※論文資料代及び見学会費・昼食弁当代含む）

お申込み方法　WEB：http://www.risktaisaku.com/home/tiems
TEL：03-5312-7740（新建新聞社　リスク対策.com）

リスク対策　検索

本シンポジウムは独立行政法人日本学術振興会の支援を受け実施するものです



アジア各国のBCP・危機管理の専門家が集う

お申し込みは　http://www.risktaisaku.com　リスク対策　検索

5月22日（火曜日）　会場：新宿区立四谷区民ホール

Opening Lecture　10:00-12:00

10:00-10:05　開会（主旨説明）　牧 紀男（TIEMS 日本支部事務局長、京都大学防災研究所准教授）

10:05-10:50　基調講演１
危機に強く、しなやかなアジアの実現 ～レジリエンスの視点から～
林 春男（TIEMS 日本支部代表、京都大学防災研究所教授）

10:50-11:35　基調講演２
社会安全の世界標準化の動き ～ ISO/TC223 ～
渡辺 研司（名古屋工業大学大学院教授）

11:35-12:00　挨拶　TIEMS の役割と活動内容　～日本支部設立に寄せて～
K.Harald Drager（TIEMS 会長）
※逐次通訳

TIEMS 日本支部 第１回総会　12:00-13:30

Conference　13:30-17:00
～アジアにおけるレジリエンスの取り組み（TIEMS アジア支部からの発信）～

13:30-14:10　アジアの自然災害リスクの動向　名執 潔（アジア防災センター所長）

14:10-14:40　中国におけるしなやかな社会の実現に向けた取り組みと課題
Zhang Ji　ハルビン工科大学学長（TIEMS 中国支部）

14:40-15:10　災害に向けた世界的フレームワークの構築 －技術と情報の共有－
Young-Jai Lee　東国大学教授（TIEMS 韓国支部代表）

15:10-15:40　政府におけるタイ洪水のインパクトと対応と復旧
Tinnakorn Tatong　タイ政府鉱物資源庁
※逐次通訳

15:50-16:50　パネルディスカッション「アジアにおけるレジリエンスの向上」
コーディネーター：牧 紀男
パネリスト：林 春男、渡辺 研司、名執 潔、TIEMS 各国支部代表

17:30 -19:30　交流会
会場：ホテル JAL シティ四谷（東京都新宿区四谷３－14－１）

四谷区民ホール
（５月 22 日）

(http://shinjuku-kuminhall.com/pc/event_yotsuya.html)

・地下鉄丸ノ内線
「新宿御苑前」より徒歩５分

四谷区民ホール／東京都新宿区内藤町 87

5月23日（水曜日）　会場：東京臨海広域防災公園

10:00-12:00　分科会（※英語による発表となります）

分科会１ プライベートセクターにおける危機対応
座長：渡辺 研司（名古屋工業大学大学院教授）

分科会２ 危機対応のためのインフォメーションのあり方
座長：田村 圭子（新潟大学災害復興科学センター教授）

分科会３ パブリックセクターにおける危機対応
座長：牧 紀男（京都大学防災研究所准教授）

12:00-12:45　昼休み（弁当付）

12:45-14:15　見学会
有明の丘基幹的広域防災拠点施設
案内係：内閣府（防災担当）及び国土交通省関東地方整備局国営昭和記念公園事務所

14:15-15:15　各分科会成果とりまとめ

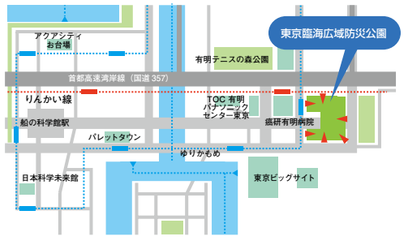
15:30-16:15　全体発表　コーディネーター：牧 紀男（京都大学防災研究所准教授）

16:15-16:30　閉会挨拶　林 春男（TIEMS 日本支部代表）

東京臨海広域防災公園
（５月 23 日）

(http://www.ktr.mlit.go.jp/showa/tokyorinkai/english/index.htm)

・りんかい線『国際展示場駅』より徒歩４分
・ゆりかもめ『有明駅』より徒歩２分
一般の来園・来館者用駐車場はございませんので、
公共交通機関をご利用下さい。



東京臨海広域防災公園／東京都江東区有明 3-8-35